

機器選定におけるポイント

タブレットPC

	機器選定のポイント	想定される問題点	機器選定において配慮すべき機能
1	OS	<ul style="list-style-type: none"> ●OSによって、使いたいものが使えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ios、Android、windowsの3種類から選択する。 ○比較にあたって自校に合わせて以下の内容を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用するソフトウェア及び教育コンテンツの種類と量 ・授業支援ソフトの導入が必要か。(画面転送、ロック、設定保持) ・個人のデータをどこに保存するか検討する。
2	形と大きさ、重さ	<ul style="list-style-type: none"> ●使う児童生徒や授業での利用に合わせた形や大きさ、重さでないと使いにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○キーボード一体型、キーボード分離型、キーボードなし型などから選択する。 ○大きさは7インチ～12インチ位までの幅がある。
3	入力方法	<ul style="list-style-type: none"> ●キーボードがないと文字入力の多い利用形態では難しい。 ●ペン入力(デジタイザ)がないと細かい図や手書き文字入力は難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○設定によっては指などでも書く事が可能。逆にペンでしか反応しないように設定することが可能。 ○先端はゴム(柔らかく反応がよい)、導電性(滑りがよい)、透明な板(タッチしているところが見える)などがある。用途に応じて選ぶ必要がある。
4	連続稼働時間	<ul style="list-style-type: none"> ●使いたいときにバッテリー切れで使えない時が出てしまう。 ●戸外で安心して使えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な教科が1日使っても使い続けることができる。実働10時間以上が望ましい。

5	同時に準備したい機器	<ul style="list-style-type: none"> ●個々のタブレットに画像や動画を保存すると、毎回同じタブレットを使わないと保存したデータを利用できない。 ●授業中に生徒の画像やデータを教師が回収することができない。 ●同じ場所で管理しないと紛失や破損の原因になる。また収納時に充電できないと、授業で使いたい時に使うことができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ファイルサーバやクラウドを設定して、生徒が作成したデータを一元管理する。 ○支援ソフトを準備すると、生徒の画像を電子黒板に映したり、必要な画像等の教材を児童生徒に配信したりすることができる。 ○タブレットを一括保管、充電ができる充電保管箱を用意する必要がある。また、充電補完箱を利用する場合は、ACアダプタをいくつか購入しておく、授業中にバッテリー切れをおこしたときに対応できる。
6	強度・防水	<ul style="list-style-type: none"> ●扱いが丁寧でない児童生徒や、戸外での利用時に突然の降雨などによって故障する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○落下などでは故障をしないものが望ましい。 ○防水機能について確認する。 ○ストラップやカバーなどを同時に購入する。 ○モニタ保護フィルムを貼り付ける必要があるか確認する。